

第 2 回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和元年 5 月 31 日（金曜）午後 3 時 00 分から午後 4 時 00 分まで
会 場	中央区役所 5 階 対策室
出席者	<p>委員</p> <p>日野浦委員，玉木委員，高橋委員，外内委員，昆委員，加藤委員，渡邊（紘）委員，青山委員，樋口委員，中野委員，三膳委員，大竹委員，田村委員，竹田委員，塩野委員，飯田委員，宮本委員，小沢委員，前川委員，松山委員，高取委員，田邊（裕）委員，知野委員，西潟委員，河端委員，梶委員，松川委員，後藤委員，藤瀬委員，島津委員</p> <p>出席 30 名 欠席 8 名 (板井委員，三國委員，田辺（龍）委員，佐藤委員，目黒委員，渡邊（隆）委員，小野塚委員，内藤委員)</p> <p>事務局</p> <p>[新潟市教育委員会] 中央区教育支援センター所長，中央公民館長 [中央区役所] 区長，副区長，窓口サービス課長，健康福祉課長補佐，保護課長，建設課長，東出張所長，南出張所長，地域課長，地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38 名中 30 名出席のため，規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝外内会長） (議 長)</p> <p>皆さん，こんにちは，外内です。本日も，何とぞよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>さて，前回の会議録についてですが，私から一か所，もしお手元に議事録があったらお出しいただきたいのですが，前回の第 1 回中央区自治協議会本会議の会議録の 3 ページ目ですけれども，私の会長あいさつのところで，皆様方からご指示をいただきましたと記載されているのですけれども，これは「ご指示」ではなく「ご推挙」いただきましたとということで，直していただきたいと思ひます。私の発音が悪かったせいか，筆記する人がご指示と書いていますので，訂正をお願いします。修正は以上です。</p> <p>それから，今回より座席に変更がありまして，部会の席順にしてあります。また，私どもの会長，副会長については，並んだ席順となります。今後はこのような席順になりますので，皆様方，よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは，本日配付した次第をご覧ください。議事が 3 件，報告が 2 件，その他 2 件です。次第に沿って会議を進めていきますので，よろしくお願ひします。</p> <p>なお，今回の議事 3 件ですが，市の各種審議会などから地域住民の代表という位置づけで，当自治協議会から委員を推薦してほしいという依頼がありました。それを受</p>

けて、各審議会の委員を選出する案件となっております。

(1) 新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会委員の推薦について

(資料 議1)

(議 長)

まず、議事(1)をご覧ください。「新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会委員」の推薦についてです。私から説明させていただきます。

資料議1をご覧ください。新潟市では、「新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」に基づき、3年ごとに「推進計画」を策定し、各種防犯対策に努められているとのことです。この推進計画に対して評価や意見をする目的で、各区の自治協議会から1名を推薦しているところです。このたび、自治協議会委員の改選があったことから、改めて1名の推薦をお願いしたいという推薦依頼が届いております。任期は令和3年3月31日までになります。

推薦に当たり、中段には、女性が被害者となる犯罪が増えており、女性の視点に立ったご意見を頂戴したいとのことから、女性委員の推薦をお願いしたい旨、記載があります。先日、総務運営会議で検討したところ、昨今は子どもを狙った犯罪も多く見られることから、日ごろから子どもたちと接する機会が多い地域教育コーディネーターの後藤委員にお願いできないかという話になりました。なお、後藤委員は同様の理由から、前期の第6期においてもお願いしているところです。ついては、後藤委員に引き続きお願いしたいと思います。皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声)

(議 長)

それでは、後藤委員、よろしく願いいたします。

(後藤委員)

後藤です。

前期に引き続き、またお受けしたいと思います。よろしく願いします。

(2) 新潟市防災会議委員の推薦について (資料 議2)

(議 長)

次に、議事(2)です。「新潟市防災会議委員」の推薦についてです。これも私から説明させていただきます。

資料議2をご覧ください。新潟市防災会議では、地域防災計画の作成や見直しに当たり意見を頂戴したいとのことから、住民代表という位置づけで、各区の自治協議会から1名を推薦しているところです。このたび、自治協議会委員の改選があったことから、改めて1名の推薦をお願いしたいという推薦依頼が届いています。任期は令和3年3月31日までになります。

こちらについても、先日、総務運営会議で検討したところ、新潟県中央警察署協議会会長や入舟地区防犯協会会長を務められている入舟地区コミュニティ協議会の高橋

委員にお願いできないかという話になりました。については、副会長の高橋委員にお願いしたいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声）

（高橋委員）

入舟地区コミュニティ協議会の高橋です。

今のところを見ますと、防犯関係より警察関係なのですけれども、入舟地区では自主防災会の副会長を務めておりました。ぜひ、また勉強したいと思いますので、今後ともよろしく願います。

（3）新潟市国民保護協議会委員の推薦について （資料 議3）

（議 長）

次に、議事（3）「新潟市国民保護協議会委員」の推薦についてです。私から説明させていただきます。

資料議3をご覧ください。国民保護協議会では、万一の武力攻撃やテロなどから国民の生命、身体、または財産を保護するために、避難所の開設や救助活動などの措置に迅速に対応できるよう、国民保護計画を定めております。その計画の修正等について、市長の諮問に応じて審議するため、各区の自治協議会から1名を推薦しているところです。このたび、自治協議会委員の改選があったことから、改めて1名の推薦をお願いしたいという推薦依頼が届いております。任期は令和2年8月31日までになっております。

こちらも総務運営会議で検討し、国民保護協議会と先ほどの防災会議は共通する部分も多いことから、高橋委員に防災会議委員と併せてお願いしたいとの話になりました。については、同じく高橋委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声）

（高橋委員）

再度、併せて、関連する事項ということでしたので、微力ながら協力させていただきたいと思います。今後とも、よろしく願います。

（議 長）

高橋委員、たくさんの委員で大変でしょうけれども、願います。

3 報告

——自治協議会委員活動報告——

（1）部会からの報告について

（議 長）

次に、報告に入ります。報告（1）「部会からの報告について」です。部会からの報告については、円滑な議事進行のため、4つの部会が全部終わりましたから質疑を

行いたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、第1部会の部会長となりました樋口委員からご報告をお願いします。

① 第1部会（資料 報1-1）

（樋口委員）

第1回第1部会の会議概要をご説明させていただきます。日時は令和元年5月23日13時30分から15時になります。会場は中央区役所5階、501会議室です。出席委員ですけれども、第1部会の9名全員の参加です。関係課からは、地域課産業振興室平原室長、それから矢部係長です。それから、事務局から、地域課の土佐係長、中谷係長、小熊副主査の出席をいただいております。

議題1として、部会三役の選出及び中央区自治協議会だより編集部会委員の選出ということです。まず、部会長、副部会長、書記の選出です。部会長には、第1号委員、関屋小学校区コミュニティ協議会の樋口、私でございます。それから副部会長には第2号委員、新潟商工会議所の小沢委員、書記には同じく第2号委員、にいがた女性会議の田邊裕美委員をお願いしました。

続いて、中央区自治協議会だより編集部会委員の選出ですが、鳥屋野校区コミュニティ協議会の中野委員と白山校区コミュニティ協議会の三國委員をお願いいたしました。

議題2です。部会の概要及び第6期取り組みについての説明、第7期部会活動についてです。まず、1番目として、部会概要及び第6期の取り組みについて、事務局から説明がありました。部会の概要については、役割、設置部会、部会・関係課・事務局の所掌範囲について、部会の運営及び開催について説明させていただきました。なお、第6期の取り組みについては、地域活性化部会で取り組みました「～新潟湊町物語～「新潟の原点」活性化事業」をテーマに掲げ、湊町がもたらした特徴を生かしながら古町地区の未来を築いていけるような取り組みを行いました。

ほかに、水辺とみなと部会では、開港150周年事業の啓発事業として、講演会やカレンダーの作成をしたということをお話ししました。第7期部会活動については、第1部会は商店街、産業、まちなか回遊、交流人口などをテーマにしておりまして、所管する分野が広いために、第1部会で取り上げる事項については、提案書を各自提出していただき、次回の部会で検討することになりました。締め切り期限は5月31日とさせていただきました。

（議長）

続いて、第2部会の部会長である大竹委員からお願いします。

② 第2部会（資料 報1-2）

（大竹委員）

長嶺地域コミュニティ協議会の大竹と申します。よろしくお願いいたします。

第2部会の日時、それから出席者については、会議概要をご覧になっていただければと思います。

議題について、まず、部会役員を選出については、部会長が私、大竹が賜りまし

た。副部会長は藤瀬委員，書記に田辺（龍）委員が選出されました。

それから編集部会委員の選出ですが，中央区自治協議会だより編集部会委員，渡邊紘一委員。会議概要では1名保留となっていますが，飯田委員からお引き受けいただきましたので，記入をお願いします。

次に，第2部会で取組みたい事項については，第2部会の主な所管分野について意見交換を行いました。それで，地域での課題，問題等，具体的に取組みたい事項についての提案書を本日までに事務局へ提出することになっています。また，それを踏まえまして，6月24日に第2回の第2部会を開催して進めてまいります。

（議 長）

続きまして，第3部会部会長の後藤委員からお願いします。

③ 第3部会（資料 報1-3）

（後藤委員）

第3部会の後藤です。

5月14日に部会が行われまして，会場，出席などはご覧のとおりです。関係課も教育関係と総務課関係から来ていただいているのですけれども，内容はご覧のとおり，会長として私が就任することになりまして，副部会長に入舟地区コミュニティ協議会の高橋委員，書記に新潟地区コミュニティ協議会の田村委員，自治協議会だより編集部会委員は日野浦委員と昆委員がお申し出くださって，二人に決まりました。

内容ですが，第3部会は教育連携，社会教育，防災・防犯，歴史・文化に取り組むところなのですが，集まった皆様が教育関係や地域の防災・防犯，警察関係などに専門的な知識をお持ちの方がたくさんいらっしゃったので，そちらから何か考えられる課題があるかどうかを，今日までに事務局に用紙を提出してもらおうということで，内容は次の部会で揉んでいきたいと思います。

その他，これからまたお話があると思うのですが，中央区教育ミーティングについて，中央区教育支援センター所長から話がありました。

（議 長）

続きまして，今日は第4部会の佐藤部会長が欠席ですので，竹田副部会長からお願いします。

④ 第4部会（資料 報1-4）

（竹田委員）

竹田です。よろしくをお願いします。

令和元年度第1回の第4部会は5月20日に開催しまして，会場等は記載のとおりです。全委員の出席をいただきまして，一つは，部会長，副部会長，書記の選出です。今ほどお話のように，佐藤部会長が所用のため欠席ですが，あとは副部会長に私と，書記に知野委員，それから中央区自治協議会だより編集部会の委員として加藤委員，それから宮本委員です。

その後，一人一人に第4部会の選定された理由とか，今後，第4部会としてどの

ように進めていくかということで、いろいろ話をしまして、会議の内容等は記載のとおりです。

(議 長)

ただいまの各部会からの報告について、ご質問、ご意見がありましたらどうぞ。出身母体を名乗ってから、マイクをお持ちしますので、発言を伝えてください。どなたかご質問はありませんか。

ないようですので、部会報告はこれで終わらせていただきます。

――各所管課からの説明(報告)――

(2) 平成 30 年度中央区長マニフェスト及び令和元年度中央区組織目標について

(資料 報 2)

(議 長)

次に、次第に沿って、報告(2)「平成 30 年度中央区長マニフェスト及び令和元年度中央区組織目標について」です。中央区長からご説明をお願いします。

(区 長)

区長の渡辺です。私から「平成 30 年度中央区長マニフェスト及び令和元年度中央区組織目標について」ご報告させていただきます。

最初のホチキス止め、平成 30 年度中央区長マニフェストについてです。重点的な取組項目として、「1.地域の活力を保ち、人口減少社会に対応する」「2.地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進する」「3.自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進する」この3点を掲げ、それぞれに具体的な事業を実施しました。項目ごと取組結果を中心にご報告させていただきたいと思えます。

1つ目の項目です。「地域の活力を保ち、人口減少社会に対応する」ということですが、地域の課題を的確に把握し、きめ細かく支援するとともに、未利用公共用地の活用方針を定めるべく、取組みを進めてまいりました。取組みの結果として、区職員が地域団体の総会など、地域活動に積極的に参加し、それぞれの地域の地域課題の解決に向けた検討を行いました。また、未利用公共用地の開発に向けて、民間事業者へのヒアリング調査や本庁関係課との議論を進めてまいりました。今後の方針として、引き続き区職員が地域に赴くのはもちろんのこと、区内でもっとも人口減少、高齢化が顕著な柳都中学校区内において、買い物弱者やコミュニティの維持・継続などをテーマにワークショップを開催しながら、課題解決に向けた方向性を模索してまいります。また、未利用地の活用については、人口増や地域の活性化につながる活用方針を固めてまいりたいと思っております。

次の項目 2 番です。「地域と協力して安心・安全な地域づくりを推進する」ということです。子育て世代や独居高齢者を孤立させないため、地域との協働による支え合いの地域づくりを進めるとともに、健康寿命の延伸や災害に強い地域づくりを構築するための取組みを進めました。取組結果として、子育て世帯を地域や専門職、さらに

は親同士との交流を進めることで育児不安の解消に努め、孤立化を防ぎたいということです。また、特定健診未受診者に対する受診勧奨のため、家庭訪問などを実施したほか、各種イベントや民間飲食店からの協力も得ながら、健康寿命延伸に向けた取組みを進めました。また、地域の防災力強化に向けては、地域や中学校とも連携しながら成果を上げることができました。

今後の方針としては、だれもがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、引き続き地域との協働により支え合いによる地域づくりを深化させてまいります。また、有事の際にしっかりと機能する体制を整え、災害に強い地域づくりを進めてまいります。

最後、3つ目の項目です。「自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進する」ということです。中央区を訪れてよかった、暮らしてよかったとさせていただくべく、中央区の自然、文化、歴史といった地域資源をしっかりと磨き、光を当てるための取組みを進めました。

取組結果として、関係者からの大きな協力のもと、まち歩き事業を実施したほか、さまざまな機会をとらえ、伝統文化や伝統的産業のPR事業にも取組みました。また、新潟島1周の自転車道の整備や、地域の皆さんとともに植樹にも取組みました。

今後の方針としては、引き続き中央区の地域資源を磨き、光を当てることに加え、皆様からのさまざまな提案を基に、新たな魅力の発見にも取り組んでまいりたいと思っております。

以上が平成30年度の区長マニフェストの取組結果であり、最後のページには具体の事業の指標が掲載されております。

続きまして、次のホチキス止めが令和元年度の中央区組織目標です。昨年と少し様式が変わっており、なかなか詳細な説明ができませんが、中央区の組織目標としては昨年度と同じ3つの組織目標を掲げております。はぐっていただきまして、2枚目のページには令和元年度の中央区の特色ある区づくり事業の概要が記載されております。この令和元年度の中央区の組織目標をもう少し分かりやすく説明するために、最後のホチキス止めをご覧くださいと思います。「2019年度中央区の取組み～地域課題を踏まえて～」ということです。

最初のスライドですが、中央区の人口増減の推移を示しております。折れ線グラフをご覧くださいと分かりますが、中央区の人口としては、平成21年くらいから平成27年までは増加傾向ということですが、平成28、平成29、平成30年度と、中央区の人口そのものが減っていることが分かります。棒グラフについては自然動態と社会動態ということですが、自然動態は生まれた方と亡くなられた方の差し引きで、社会動態は転出された方と転入された方の差し引きが示されております。棒グラフは色が分かりにくいのですが、上に振れているのが社会動態です。下に振れているのが自然動態ということで、社会動態については、中央区はずっとプラスが続いておりますが、自然動態についてはマイナスが続いております。昨今、この3年間においては自然動態のマイナスが社会動態のプラスを上回るということですので、人口が減っているということです。

はぐっていただきまして、次のスライドです。中央区の高齢化率ということで、グラフが2つ並んでおりますが、背の高いほうが新潟市の高齢化率、低いほうが中央区

です。区ごとに8区の中ではもっとも高齢化が進んでいない区が中央区ということですが、中央区の数値を見ていきますと、じわりじわりと高齢化率が上がっているということです。

その下のスライドです。65歳以上の単独世帯の割合ということで、これは平成22年と平成27年の国勢調査のデータから持ってきたものです。中央区は少し濃くなっていますが、単独世帯が平成27年でいきますと9,324世帯ということです。高齢者のいる世帯の約10パーセントを超えているところが単独世帯、高齢者だけの世帯ということで、各区を比較しますと、中央区が一番高いということです。

次のスライドが、子育て世帯に占める核家族の割合です。これは8つの区が並んでいます。中央区においては88.5パーセントと、約9割が核家族による子育てがなされているということです。例えば、南区や西蒲区の数値を見ますと6割を下回っているため、中央区において核家族化が顕著になっていると見て取れると思います。

その下の表が中央区の中学校区別人口増減率、そして年少人口割合です。このグラフの一番下に数値がマイナス10からプラス10まで並んでいます。ゼロのところは人口が増えても減ってもいないラインです。新潟市の平均としては、マイナス1.1パーセントのところは線が引いてありますので、新潟市全体としては1.1パーセント人口が減っているということです。横の線が、新潟市平均12.3パーセントと記載されていますが、人口に占める年少人口の割合です。それを各中学校区別にグラフに落としたものがこのグラフの見方になっています。右上の上山中学校区、鳥屋野中学校区、山潟中学校区においては、言ってみれば人口も増えているし子どもの割合も多いという地域です。逆に寄居地区、関屋地区、新潟柳都地区においては人口も減っており、なおかつ子どもの数も比較的少ないということが言えます。宮浦、東新潟、白新地区においては、人口は減っていないものの、子どもが少なくなっていることがわかりますので、何らかの対処をしていかないと、どんどん左側に点が動いていくことが危惧されます。

次のスライドです。今ほど申し上げた中央区の人口的な特徴をとらえまして、中央区としては4つの課題があると考えています。ここに記載された課題の1つ目「子育て世帯や高齢者への支援」、2つ目は「地域の活力の向上」、3つ目が「安心してすこやかに暮らせるまちづくり」、4つ目が「地域資源の魅力の発信」を4つの課題として掲げております。

次のスライドからは、それらの課題を受けて、中央区が行おうとしている主な事業です。右側に移りますと、1つ目の事業の「みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業」については、地域で安心して子育てができるよう、子育て講座の開催や、仲間づくりの場、専門職からのサポートなども含めて、育児不安の解消を狙っております。

次に、「赤ちゃん誕生お祝い会支援事業」については、子どもが誕生するきっかけで地域との交流を深めていただき、地域で子育てをしていくということ、もしくは保護者の方が地域と有効につながっていくことを狙いとしています。

次のスライドです。「話そう・つなごう・あなたの思い終活きっかけ作り事業」です。一人暮らしや身寄りのない高齢者が、先ほどのグラフにもありましたけれども、中央区には多くございまして、そういった方が事前に意思表示する医療やケアを、人生

の最期まで受けられるような取組みとして、関係機関と連携しながらそういったことを進めていきたいと思っております。その下のスライド、「地域主体の人口減少に関する取組み推進事業」ということで、これは先ほどの柳都中学校区をモデル的に考えておりますが、コミュニティ協議会単位で地域カルテを活用した研修会を実施して、人口減少や高齢化に対応する地域の取組みを推進していきます。我々も一緒になって地域について考えていきたいと思っております。

右側に行きます。「アトリウム発にぎわいプロジェクト」については、このNEXT21の1階にありますアトリウムでさまざまなイベントを実施して、地域や民間の方々の情報発信の場として活用してもらいたいと。さらには、ここを中心に古町地区に賑わいを取り戻してまいりたいという考えです。

その下、「区民協働森づくり事業」については、関屋地区の海浜植物園周辺に、地域の皆さんとともに松くい虫に強いクロマツの植樹を続けていくということです。

次のページ、「とやの物語」については、中央区の自然の分野での宝物である鳥屋野潟に多くの方に親んでもらうべく、イベントを継続実施していきたいと考えています。

その下、「防災人材育成・地域づくり事業」については、避難所の運営に関する講習会を引き続き開催することと、地域による津波自主避難マップを改定する地域がありますので、その作成の支援を積極的にやっていきたいと考えております。

次に、右側に移ります。「犯罪のない地域づくり事業」ということで、グラフをご覧いただきたいのですが、高齢者を対象にした特殊詐欺に対する注意喚起をしていきたいということです。8区並んでいますが、高齢者を対象とした特殊詐欺被害件数、被害額ともに中央区がダントツに高くなっておりまして、県警とも連携しながら注意喚起を進めていきたいと思っております。

その下、「糖尿病予防事業」ということで、平成28年の健診結果からしますと、糖尿病の疑いのある方の割合は、新潟市が約47.8パーセントに対して中央区は49.5パーセントということで、市の平均を上回っているということです。中でも、中学校区別に見ると、関屋中学校区、白新中学校区、宮浦中学校区においては50パーセントを超える方が対象になっているということです。糖尿病の正しい知識や予防方法を広めるイベントを、まちなかを中心にして開催してまいりたいと考えております。

次のページ、「路上駐輪対策事業」です。これは来年の今ごろにはもう開業しておりますが、大和跡地再開発ビルのある古町モールの中で駐輪マナーの悪い自転車が多く見られますので、地元の方と一緒にそういった対策を取組んでまいりたいと思っております。

その下のスライド、「北前船がもたらした伝統的産業PR事業」ということで、「新潟漆器」、「発酵食」に加えてみなとまち新潟のおもてなし文化を代表する「古町芸妓」のPRについても積極的に発信していきたいと考えております。

最後になります。「地域のお宝！再発見事業」です。これは、先ほども申し上げたまち歩きの事業です。大変人気のある事業ですが、市民の皆さん、区民の皆さんからの提案によるまち歩きのコースなどを募集しながら、新しいコースの掘り出しに着手してまいりたいと思っております。

以上が令和元年度の主な事業で、先ほど、2つ目の令和元年度中央区組織目標の2枚目についています、令和元年度中央区予算の概要に、今、私がお話したものよりも若干詳細な説明がここに記載されておりますので、時間があるときにご覧いただければと考えております。

(議 長)

ただいまの区長からのご説明に対して、何か質問なりご意見はございますか。

(松川委員)

第4部会の松川といいます。よろしく申し上げます。

今、事業を見ていて、一つ思ったのが、高齢者、それから子育て世帯の応援はあるのですけれども、最近気になっているのがひきこもり支援です。今週も川崎で悲惨な事件がありましたけれども、高齢化が進んでいて余計把握がしづらくなっているということで、中央区でもまずそういった現状把握と支援を、来年度からでも進めていただけないかと思えます。

(区 長)

ひきこもり支援については、抜本的な対策がなかなか非常に難しいということで、全国的にもそういう背景があります。

今回、痛ましい事件がありました。ひきこもりと犯罪を安易に結びつけることはせず、中央区というよりも、新潟市としてひきこもりの状況把握を含めて、他都市の事例なども研究しながら、犯罪に結びつけられることのないように今後も支援を講じる必要があると思えますので、今のご意見は担当している部にもきちんと伝えさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。

(議 長)

ほかにごありますか。

もし今ないようでしたら、ご自宅に帰って資料をもう一度よく見て、そして疑問のことがあったら事務局までお問い合わせいただければお答えいただけると思えますので、よろしく申し上げます。

それでは、この件については終わります。区長、ありがとうございました。

4 その他

(1) 中央区教育ミーティングの開催について (資料 他1)

(議 長)

次に、その他(1)「中央区教育ミーティングの開催について」です。担当課からご説明をお願いします。

(中央区教育支援センター)

中央区教育支援センター所長の佐々木です。いつもお世話になっております。私より、区教育ミーティングについてご説明させていただきます。

配付しました資料他 1 をご覧ください。中央区教育ミーティングについては、4 月の自治協議会においてもご説明させていただきました。全市的な教育情報を伝えるとともに、地域における教育の実情などを把握し、市の教育施策に反映させることを目的として、自治協議会委員の皆さんと教育委員が懇談、意見交換を行うもので、毎年度、各区において自治協議会に併せて開催させていただいています。

今年度については、案内にもありますとおり、第 1 回目の中央区教育ミーティングを来月 6 月 28 日（金）の自治協議会開催日に併せて開催したいと考えております。開会時間については、午後 1 時から概ね 1 時間 30 分程度の予定です。自治協議会が午後 3 時からですけれども、その前、午後 1 時から概ね 1 時間 30 分程度の予定です。会場については中央区役所を予定しておりますが、7 月に執行が予定されている参議院議員通常選挙の日程により調整中となりますので、詳細については後ほどお伝えしたいと思います。

出席者については教育長または教育次長、区担当の教育委員と教育委員会事務局職員を予定しています。

ミーティングの内容については、最初に、令和元年度、市の教育施策について説明し、施策や教育についての質疑応答や意見交換を予定しています。後半については、区で設定したテーマにより意見交換ということになります。テーマの設定については、昨年度に各区で開催された第 2 回教育委員会で実施したアンケートの結果を基に、各区で設定することになっています。中央区のテーマについては、区自治協議会総務運営会議で協議した結果、「保護者・地域・学校の連携」とさせていただくことになりました。具体的には、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割を自覚しつつ、その三者が連携し、全体で子どもたちを育む体制づくりについて、まずは現状や課題についての意見交換をしたいと考えております。当日ご説明させていただく市の教育施策やテーマに基づいた資料については、あらかじめ、ミーティング開催前に皆さんに送付させていただく予定です。

なお、教育ミーティングをご欠席なさる際は、ご面倒でも中央区教育支援センターまでご連絡をお願いしたいと思います。

(議 長)

これはお知らせですので、よろしいでしょうか。何かご質問はありますか。ありませんか。ありがとうございました。

(2) 令和元年度 中央区自治協議会の年間開催日程について (資料 他 2)

(議 長)

次に、その他 (2) 資料他 2 がありますが、「令和元年度中央区自治協議会の年間開催日程について」です。前回、皆様にお伝えしてありますけれども、毎月最終金曜日の午後 3 時を基本とした日程になっております。色がついている 12 月と 3 月は年末と年度末ということで、1 週間早まっているようですので、お気をつけいただきました

	<p>いと思います。このように予定されておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>何か皆様方からご意見はありませんか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>これでこの会は終了いたします。大変お疲れさまでした。</p> <p>5 閉会</p>
傍聴者	6名
報道機関	2社